

広報つなぎ

2022

TSUNAGI

まちにあふれる魅力や笑顔を届ける広報紙

Vol.682

【特集】五十嵐靖晃『海渡り』

赤い糸で、海と陸をつなぐ



赤い糸で、海と陸をつなぐ

【特集】五十嵐靖晃《海渡り》

津奈木町は1984年からアートによるまちづくりを進めています。アートを媒体に對話を重ね、これまでその土地でしかつくりえない作品を生み出してきました。今回の舞台は、赤崎地区にある小さな島「弁天島」。潮の満ち引きによって渡ることができるその島には、町を見守るように佇む弁天様があります。数十年たった一人で管理を続けてきた松田テル子さん（日当）。自身を「最後の代になるかもしれない」と語ります。アーティストの五十嵐靖晃さんが4年におよびサーチと対話によって、昨年完成した《海渡り》。人々が紡いできた地域の営みを、海と陸をつなぐ無数の糸で表しました。今回の特集では、アーティスト、町、住民が向き合い、後世に受け継いでいくことを目指した、新しい私たちのアート作品の裏側をひも解きます。

町の紹介

緑と彫刻のある町 熊本県津奈木町

津奈木町は熊本県南部に位置し、南は水俣市、東は芦北町に隣接し、西は不知火海を隔てて天草諸島と相對しています。東西 6.5km、南北 9km で総面積は 34.08km²。総面積の約6割が山林地帯であり、地勢も壮麗期の安山岩山系に三方を囲まれ、西向き急傾斜に開けたリアス海岸は美しく、芦北海岸県立自然公園の指定を受け、海深く良港に富んでいます。



町章



町の木「すぎ」



町の鳥「やまどり」



町の花「つわぶき」

CONTENTS 広報つなぎ No.682 November 2022

- 03 【特集】五十嵐靖晃《海渡り》
赤い糸で、海と陸をつなぐ
- 14 まちのわだい
海ごみゼロフェスティバル&水辺の安全教室／地域交通安全推進表彰／津奈木中学校大根種まき体験／サラダ玉ねぎ収益金寄付／三ツ島ナイト／全国交通安全功労者表彰／外山恒一トークセッション／全国防犯功労者表彰
- 16 【フォトリポート】運動会
（津奈木小学校・津奈木保育園・津南保育園）
- 20 令和4年度芦北水俣郡市中学校駅伝競走大会／小中学校モルック体験教室／令和3年度決算公表／つなぎ海老フェア／津奈木レール&フットパス
- 26 INFORMATION+
マイナンバーカード&マイナポイント申請出張サポート／原油価格・物価高騰に関する支援／マイナンバーカード休日交付窓口開設／社会保険料控除証明書／粗大ごみの休日特別受け入れ／フレンドリーカップビーチバレー大会
- 27 地域おこし協力隊通信
- 28 暮らしの情報
消費税のインボイス制度説明会／農業者の収入保険料を支援します／くまもと子ども・若者“よりそい”シンポジウム／熊本県の最低賃金は853円／第82回県科学展／道路に張り出している木は伐採／若者サポートステーションやつしろ出張相談会／家族介護者教室／生活支援ボランティア養成講座／性暴力被害を受けた人へ／ホンドリング本で広がる支援の輪／労使紛争の解決に「あっせん」／11/9~15は秋季全国火災予防運動／危険物取扱者試験／新しい家族を待ってます／つなぎ温泉四季彩・つなぎ百貨堂
- 30 和のひろば／図書館から新刊情報／休日当番医／乳幼児健診の案内／人のうごき／寄附・芳志お礼／近隣自治体のイベント情報
- 32 つなぎ美術館情報

今月の表紙

9月23日(金)に開かれた《海渡り》。町内外の人々の協力を得ながら後世に受け継ぐことを目指す新しいかたちのアート作品です。102本の赤い糸を張り終えて、参加者は充実した表情を見せていました。伝統文化の継承という難しいプロジェクトに挑戦したアーティストと住民の取り組みを特集内で紹介します。





住民と対話を重ねる五十嵐さん



松田さんにお祭りの思いを聞く



制作実験で自ら糸を引っ張る

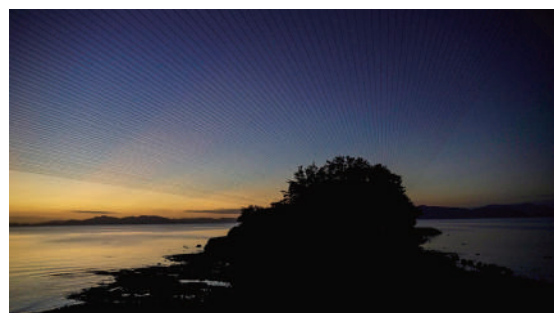
天様のまなざしを感じました。私は「海からの視点」というものを大切にしている、ふだん陸で考えている感覚とは違う海からの視点で物事を考え、自分たちの暮らしや生き方を見つめ直す。それは、自らの視線を弁天様のまなざしと重ねることでもあります。

祈りを重ねられていた松田さんが、お祭りを続ける最後の1人になるかもしれない。お祭りを次の世代につなぎたい。松田さんとの出会いが、「この町で納めるべきもの」が見えた瞬間でした。

島と陸をつなぐ赤い糸

《海渡り》ではみんなで海を渡って糸を張る日を「海渡りの日」としました。糸は「弁天様のまなざし」であり「海からの視点」を表現しています。また、松田さんよりずっと前の世代から考えると、多くの人が祈りのために島に渡っていて、その「歩みの軌跡」のイメージでもあります。

プロジェクトが進むにつれ、一緒に作る仲間が増え、みんなが「自分事」として関わってくれたように感じました。島では、強い力をかけて糸を固定する必要があります。そのため、競舟チーム「津奈木海龍」の若い漕ぎ手たちが力いっぱい引き寄せ、それを熟年の漁師である林田廣美さん（日添）が慣れた手つきで支柱に結び付ける。昼食は地元のお母さんが心を込めて作ったおにぎりと豚汁。みんながそれぞれの力を生かしながら《海渡り》が完成したと思います。



日が暮れると日中とは違った美しさが楽しめる

住民参加のアートプロジェクトで人と地域をつなぐ架け橋に――

津奈木に「新しい海の日」を――

《海渡り》の発案者であるアーティスト・五十嵐靖晃さんが大事にするのは、「土地の声を聞く」こと。リサーチする中で、弁天様の存在や祭りを長年1人で行っているという事実を知り、作品のイメージが浮かび上がったそうです。作品への思いや人と地域をつなぐアート活動を聞きました。

五十嵐 靖晃さん

いがらし やすあき／アーティスト

1978年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。人々との協働を通じて、その土地の暮らしと自然とを美しく接続させ、景色をつくり変えるような表現活動を各地で展開。アートとは自然と人間の関わり方の術であり、この時代、多様な人々をつなげるものとしてあると考える。2005年にヨットで日本からミクロネシアまで約4000kmを航海した経験から「海からの視座」を活動の根拠とする。津奈木町では海の上にある廃校を拠点にしたアートプロジェクト「赤崎水曜日郵便局」（2013～16）の企画運営にも携わった。



2018年につなぎ美術館から地域に根ざし、継続できるプロジェクトの依頼を受けました。リサーチに訪れたのが町の水源地。そこには水の神様が祭られていて、水源近くから海が見えたことが強く印象に残りました。水の流れの行き着く先に海と島があり、そこには水難から人々を守ってくれる弁天様がいて、「水」というテーマが私の中で浮かび上がりました。山から水を追いかけて海へと下り、そこで弁天島に出会ったのでした。

たった一人で執り行ってきたお祭り

弁天島には祠があり、松田テル子さんが一人で島を管理されていると聞きました。その中で出てきたのが「弁天様のお祭り」の話。数十年前で「お祭りをされていて、そのときに「津奈木の町をお守りください」と毎年お祈りしてください」ということを知りました。

弁天様は町を見守るように見えて、そこにいると弁

《海渡り》の制作風景を紹介する映像を公開

つなぎ美術館 YouTube チャンネルで、《海渡り》の映像を公開しています。右 QR コードを読み取ってください。



【URL】https://www.youtube.com/watch?v=08nY-i_3HWA



つなぎまちのつなぎかた

「海渡りの日」は言葉通り海を渡る日でもあるし、海から自分のことを、暮らしを、この自然との向き合い方を見つめ直す日でもあります。来年は町の文化の柱の1つである競舟の乗船体験ができる機会を設けたいです。

《海渡り》を通して、子どもからお年寄りまで世代を超えて地域の方々がつながる機会になったように感じます。津奈木の海と関わりながら命をつないできた文化

がさまざまなところに散りばめられていて、みんなでそういう場を創り上げることができたと思います。この《海渡り》が津奈木の人たちの心のよりどころになればうれしいです。



組みひもワークショップで児童に組みひも方を指導



島と陸をつなぐ、

無数の赤い糸

五十嵐靖晃 《海渡り》

100人を超える参加者が集まった《海渡り》。
9/23(金)に開かれたこの日の様子をお届けします。

9月23日(金)、五十嵐靖晃
アートプロジェクト「つなぎ
まちのつなぎかた」で展示す
る作品《海渡り》の制作が旧

赤崎小学校近くで開かれまし
た。参加者は弁天島と陸をつ
なぐ102本の糸を張ってい
きました。糸は弁天様のまな
ざしと海からの視点を表現。
そしてまた、島を往来する
人々の歩みの軌跡を糸に乗せ
てかたちにしています。
最後の102本目の糸は全
員で島へも運んでいきまし
た。五十嵐さんは「みんな
で1本持つていくときに、祈り
の道をたどっているように見
えた《海渡り》を通じて、
この土地でずっと続いてきた
お祭りをアートの力で継承し
ていく新しい形を作りたいか
つ」と話していました。

弁天様のお祭りを続けてきた
松田テル子さん(左)

1.《海渡り》を背景にみんなで記念撮影／2.号令をかける五十嵐さん／3.弁天島
から見た《海渡り》／4.地元のお母さんたちによる豚汁やおにぎりのふるまい／
5.糸を引き寄せてしっかりと固定／6.最後の糸は参加者全員でつないだ／7.参
加者たちが陸から島に糸を運ぶ／8.力強く糸を引く競舟チームの津奈木龍



1.2. 糸が水に濡れないように巻き上げる／3. 辺りが暗くなる中、鳥居を建立。ことしは鳥居の裏面に地域住民が文字入れをした

10月21日(金) 弁天様のお祭り 島へ渡り、津奈木の無事を祈る

「弁天様のお祭り」は旧暦9月26日、弁天島が陸続きになる干潮時に開かれています。昔は松田家と千々岩家で祭りを続けていましたが、次第に1人でするようになりました。

古くから伝えられてきた作法にのっとり、旗を揚げ、赤飯やお神酒、みかんなどを奉納。みんなで手を合わせ津奈木町の未来を祈りました。松田さんは「1人で続けるのは大変だったので、皆さんが参加してくれてありがたい。きっと先祖や弁天様も喜んでくれると思う」と感謝の気持ちを伝えていました。

陸へ戻るとテーブルを囲んで直会なおりが開かれました。煮しめやえびめし、ひじきや豆腐などを丸めて揚げた「ヒロス」など、地元のお母さんたちが作ったごちそうに舌鼓を打ちました。かつて弁天島で遊んでいた話や海辺でビナを拾った話など、昔の風景に思いをはせました。古くからお祭りは過去と現在をつなぐ役割も担っていたかもしれません。

10月16日(日) 糸あげの日 糸を引き上げ、鳥居を元に戻す

展示した《海渡り》の赤い糸を引き上げ、鳥居を元に戻す「糸あげの日」が開かれました。参加者約30人は島から陸へと糸を濡らさぬよう丁寧に巻き上げていきました。102本あった糸は無事に回収され、綺麗に手入れされた鳥居が島へと戻されました。

この鳥居は約20年前に台風で倒壊したままとなっていたが、プロジェクトが進むにつれて「鳥居を建て直したい」という地域の強い思いから、地元大工さんの協力を得て昨年再建されたものです。ことしは地域住民の手によって新たに奉納の文字が入れられました。

参加者からは、鳥居のある元の姿に戻ったことへの喜びと、これまで見てきた島の風景が不思議と新しい風景に感じると声が上がっていました。五十嵐さんは「《海渡り》を通して、自然との関わりや自分自身を見つめ直すことで、懐かしい風景が新しく感じたのかもしれない」と話していました。



1. お神酒や果物などをお供えをしてお祈り／2. 急斜面を慎重に登る／3. 海辺のシェルターで地元のお母さんが作った手料理で直会



旧赤崎小学校で津奈木小学校3年生42人が、日本伝統の技法である「組みひも」を体験し、ブレスレットを作りました。講師を務めたのは、事前にレクチャーを受けた保護者を中心。この日のために準備を進めてきました。児童たちは教えてもらいながら上手に手を動かし組み上げていきました。

鶴長小花さん（丸岡）は『海渡り』の話聞き、たくさんの人の思いや協力で糸がつけられたことが分かった。組みひもは作れるか心配だったけど、やっているうちに楽しくなってきた。今回経験したことを生かしながら、これからもいろんなことに頑張りたい」と満足した様子。五十嵐さんは「ブレスレットや描いた作品を見た

10月7日(金) 津奈木小学校組みひもワークショップ

未来へつなぐ糸を、みんなの手で――



コツをつかんできれいに組み上げていく児童

ときに今日のことを思い出してほしい。いつか組みひもで100本の糸を作り、《海渡り》の糸として張るのが目標」と話していました。

屋外作品《入魂の宿》（柳幸典作）の鑑賞や赤崎の海でお絵描き、磯遊びなど机上では学べない「生きた学び」を体験。元気な笑い声が響き、児童にとってかけがえのない思い出になったようです。



事前に組み方を学ぶ講師



海や弁天島、《海渡り》を描く



作ったブレスレットをみんなで見せ合う

弁天様のまなざしを、 未来につなぐ――

五十嵐さんが「津奈木を大切に思うみんなの気持ちが形になった」と話すように、《海渡り》は多くの人が協力して完成しました。糸を張る人、力強く引き寄せる人、柱に結びつける人、料理で支える人―。それぞれが違う作業を担いながらも、そこには笑顔が広がっていました。参加者に話を聞くと、地域への思いがあふれていました。



みんなで作り上げた《海渡り》
ずっと続くとよかね――

林田 廣美さん（日添）

生まれも育ちも津奈木町ですが、弁天様のお祭りは全然知らなかったです。小学生のころから、ずっとこのほころは何なのか気になっていました。

私が弁天島で糸を結んでいるときも、ちゃんとできているのか心配でしたが、学校側から見たらきれいに張られていて感動しました。

五十嵐さんとは「赤崎水曜日郵便局」から9年以上の知り合い。海の上の学校や島などを使って作品を作ってもらい、《海渡り》がきっかけでここにあった鳥居や昔の祭りを思い出させてくれて感謝しています。祭りや《海渡り》に関わる人が増えていけるよう、一緒に私もできる限りお手伝いしたいです。



これからの人生の
支えになる貴重な経験――

森本 祐宇さん・梁介さん（丸岡）

昨年、お父さんから誘われて楽しかったので今回も参加しました。私たちの役割は、糸をつなぐために、引っ張りながら運ぶこと。早く完成したところが見たいとワクワクしながら頑張りました。最後の糸を持っていたのが印象に残っていて、みんなで作り上げた《海渡り》はとてもきれいでした。

休憩中に食べた豚汁が特においしく、たくさんおかわりしました。磯遊びではエビの赤ちゃんがいたから、えさになりそうなものを探したりと、忘れられない思い出となりました。

《海渡り》を通じて、みんなで協力することの大切さを学びました。来年からもぜひ参加したいです。



喜ばれることを想像しながら
楽しく料理しとるよ――

岩崎 美津子さん（日添）

昔は冠婚葬祭や行事には地区のみんなが参加し、そういうときには婦人会が約100人分の料理を作ります。私も嫁いできてから先輩方に地元の料理を教わりました。《海渡り》制作当日に豚汁やおにぎり、昔からお祭りのときに食べていた煮しめなどを弁天様のお祭りの直会でふるまいました。おいしそうに食べる姿を見ると、私までいやされ、幸せを感じます。

みんなで会話しながら料理を作るのも楽しみの一つです。何十年先までもは頑張れないけど、大好きなふるさとの味が残ってほしいというのは同じだと思います。元気なうちに次の世代に作り方や味を伝えていきたいです。

※直会…神事の最後に供え物やお酒などを飲食すること。



伝統の継承をみんなで
考えるきっかけに――

新立 誠さん（丸岡）

《海渡り》では島で糸を引いたり、鳥居の柱を運んだりと力仕事を任せられました。ふだんとは違う視点で海に関われることにすごく新鮮味があって、心を打たれました。

私は競舟チーム「津奈木海龍」に所属し、13歳からこぎ続け、海と共に育ってきました。台風や新型コロナウイルスの影響などで競舟大会が平成29年から中止が続き、最近では子どもと海との距離が少し遠くなったように感じます。弁天様のお祭りも競舟も次世代へ継承していくべき町の文化です。《海渡り》もいつまでも続く伝統行事になってほしいし、競舟の乗船体験などを通して、子どもが海と触れ合えるような機会と一緒に作っていききたいです。

「ふだん陸で考えている感覚とは、違う海からの視点で物事を考え、自分たちの暮らしや生き方を見つめ直す―」。

五十嵐さんが語った、

《海渡り》に込められた思いです。

多くの人々との対話によってこの作品が生まれました。

弁天様の話を聞いた日、みんなで初めて弁天様とまなざしを重ねたとき、競舟チームの思いを聞き、郷土料理を作るお母さんたちの料理を食べたとき――。

たくさんの人とのつながりが深まる《海渡り》はこんな時代だからこそ、大切にしなければなりません。

これからも《海渡り》は津奈木の「新しい海の日」として、地域内外の人々の手により、伝統や地域を大切に思い、守ってきた人々の願いと共に、次の世代へと引き継がれていくことでしょう。

【特集】赤い糸で、海と陸をつなぐ（完）――

自然と人をつなぎ、過去と未来をつなぐ――

新たな伝統を紡ぎ、
未来を開いていく――



↓表彰を受けた森下さん(左)

地域の交通安全に貢献 全国交通安全功労者表彰

10月12日(木)、森下紀裕さん(中尾)が全国交通安全功労者として内閣府特命担当大臣から表彰を受けました。昭和52年から交通指導員として、登下校時の街頭指導や交通安全運動に積極的に参加し、本町の交通事故防止に貢献されています。森下さん「受賞できてとてもうれしいです。これからも津奈木町の交通安全に尽くしていきたいです」と話していました。



↓表彰を受けた吉野さん(前列右)

地域の防犯に貢献 全国防犯功労者表彰

10月17日(月)、水俣警察署で全国防犯功労者表彰が開かれ、吉野芳子さん(日添)が銅賞を受賞しました。吉野さんは水俣地区少年補導員として活動するほか、街頭補導活動などに積極的に参加。つなぎろっぽうパトロール隊の一員として、地域の防犯や青少年の非行防止・健全育成に大きく貢献しています。

野外で食・音楽・映画を楽しむ 三ツ島ナイト

10月9日(日)、三ツ島ナイトが旧平国小学校で開かれました。会場では、グリーンカレーや新鮮な魚介類を使った海鮮焼きなどの飲食物を販売。ステージイベントでは、和太鼓とギターを掛け合わせた演奏や巨大スクリーンでの野外シアター上映が催され、参加者は開放的な空間で食事や音楽、映画を楽しみました。



↑野外上映を満喫する参加者

革命家が語る芸術表現の可能性と限界 外山恒一トークセッション

現在、つなぎ美術館で開催している秋の企画展「光と影のアンソロジー この世界にただ独り立つ」の出展者の一人である外山恒一さんのトークセッションが10月15日(土)、つなぎ文化センターで開かれました。外山さんはゲストと、出展までのいきさつやこれまでの活動などをテーマに話しました。同企画展は、11月13日(日)までです。



↑外山さんの話で会場は大いに盛り上がりました



↓表彰を受けた齋藤さん(前列中央)

交通モラルの向上に貢献 地域交通安全推進表彰

9月22日(木)、水俣警察署で齋藤誠さん(桜戸)が交通安全功労者として水俣警察署長と水俣地区交通安全協会会長から表彰を受けました。齋藤さんは、地域交通安全推進委員を20年務めています。交通安全の理解を深める活動のリーダーとして、ボランティアの人たちに法律上の資格を与え、地域の交通モラルの向上に尽力しています。



↓PTA会長に寄付金を手渡す林さん(右)

小学校のクラブ活動のために サラダ玉ねぎ収益金寄付

10月2日(日)、JAあしきた青壮年部から津奈木小学校PTAに寄付金が手渡されました。5月に津奈木保育園近くの畑で収穫したサラダ玉ねぎをインターネット通販サイト「豊洲市場ドットコム」で販売し、その売り上げの一部を同校や社会体育クラブに寄付していただいたもの。部長の林辰徳さん(倉谷)は「子どものために役立ててもらえたらうれしい」と話していました。

美しい海を守るために 海ごみゼロフェスティバル&水辺の安全教室

9月19日(月)、B&G艇庫周辺で海ごみゼロフェスティバルと水辺の安全教室が開かれました。参加した海洋クラブ員の子どもたちは干拓周辺のごみ拾いをした後、海洋ごみが生態系に与える影響や水辺の危険性、溺れたときの対処法などを紙芝居を使って学習。指導員が実際に海に入り、子どもたちが学んだことを実演しました。



↑みんなで協力し、たくさんごみを拾いました

冬の大根収穫が楽しみ! 津奈木中学校大根種まき体験

9月30日(金)、中尾地区の畑で津奈木中学校1年生29人が大根の種まきを体験しました。これは、町が進める「つなぎFARM」の取り組みの一つで、生徒に農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JAあしきた津奈木青壮年部が行っています。この大根は無肥料・無農薬の自然栽培で育てられ、12月ごろに生徒が収穫し、寒漬大根を作ります。



↑大根の種をまく生徒。収穫が楽しみです



【写真説明】

1. 思いを込めてバトンタッチ／
2. 狙いを定めて玉を投げる／
3. 勢いよくスタート、勝負の行方は!?／4. カメラに向かって決めポーズ／5. 笑顔で優勝旗を受け取る／6. 一糸乱れぬ演技をする5・6年生／7. 頑張るわが子の姿を撮影／8. 競技を盛り上げる放送／9. 親子足並みそろえてゴールを目指す／10.11. カー杯演舞を披露

10月2日(日)、津奈木小学校運動会が同校グラウンドで開かれ、児童197人が赤白の2団に分かれ、「あきらめず全力を出し切る運動会」をテーマに競技を楽しみました。ことしも午前中のみ開催。野崎雅貴赤団長(中尾)と上村真斗白団長(日添)が力強く宣誓し競技へ。児童は学年ごとの徒競走やリレーで元気にグラウンドを駆け抜け、ダンスでは元気なかけ声と共に体を大きく動かし、息の合った踊りを披露しました。



あきらめず
全力を出し切る

「フォトリポート」津奈木小学校運動会



【写真説明】

1. 僅差でバトンタッチ、果たして勝負の結果は!? / 2. リズムに合わせて決めポーズ / 3. わが子を抱えて全力疾走 / 4. 親子で協力し、お菓子をゲット / 5. 元気いっぱい! はきはきとした声で選手宣誓 / 6. くす玉を割りみんなで喜びを分かち合う

保護者と対戦したくす玉割りでは、園児たちが大差をつけて勝利し、みんな笑顔でガッツポーズ。リレーでは、園児たちがたくましい走りでグラウンドを1周。どちらも譲らない一進一退の展開に会場からは温かい拍手と声援が送られました。

成長した姿 家族に披露

津南保育園運動会

10月16日(日)、津南保育園運動会が総合グラウンドで開かれ、園児58人が参加しました。

元気いっぱいの入場行進から始まった運動会。園児たちはダンスや玉入れ、障害物競走などを楽しみました。

元気いっぱい 笑顔弾ける

津奈木保育園運動会

10月15日(土)、津奈木保育園運動会が同園庭で開かれ、2歳以上の園児35人がかけっこやダンス、和太鼓などを披露しました。

園児たちが元気いっぱいに走る姿や恥ずかしそうに返事をする姿に保護者は終始笑顔。親子競技では、園児たちが保護者と競ったり、協力してゴールを目指す姿に会場は和やかな雰囲気になりました。年長児は和太鼓演奏で大きな掛け声や迫力あるバチさばきで練習の成果を十分に発揮しました。

【写真説明】

1. 大好きなお母さんに抱っこされてご満悦 / 2. 最終コーナーで追い抜き、声を上げる / 3. リズムに合わせて笑顔でダンス / 4. 頑張る友だちに声援を送る / 5. 力いっぱい太鼓を叩く、練習通りにできるかな / 6. やったね! 一等賞



1.3. 狙いを定めてモルックを投げる／2. ルール説明を受ける生徒。シンプルなルールですが戦略が重要／4. 高得点ゲットでガッツポーズ／5. 勝利を喜びハイタッチ／6. スキットルと呼ばれる道具。モルックを投げて、倒れた本数や書いてある数字で得点が決まります

小中学校モルック体験教室

北欧発の新競技を体験

INTERVIEW



尾上 優心さん(丸岡)

思っていたよりも難しく、狙いどおりスキットルを倒すことができたときはうれしかったです。仲間とコミュニケーションをとる機会が多く、みんなが気軽に楽しめるスポーツだと思います。これから昼休みはモルックをして、11月に開かれるつなぎモルック大会にもぜひ参加したいです。

10月18日(火)・19日(水)、小中学校グラウンドでモルック体験教室が開かれました。モルックは、フィンランド発祥のスポーツ。近年では世界大会や国内大会、本町でもつなぎふれあい祭りの新イベントとしてつなぎモルック大会を開かれるなど、さまざまな人が楽しめる競技として注目されています。

体験教室では、山崎聖矢さん(古中尾)の指導やルール説明をもとに、投げ方や戦略を学び、チームを組んで対戦。子どもたちは、ハイタッチや歓声を上げながら、競技を楽しみました。



【写真説明】1. 両手をあげて喜びゴールする國本さん／2.5. チームの思いが込められた、たすきをつなぐ／3.6. 圧巻の走りを見せた新立さんと齊藤さん／4. 全員でつかみ取った県大会出場を喜び記念撮影／7. 最後まで全力で走り切った洲上さん

令和4年度芦北水俣郡市中学校駅伝競走大会

男女共に県大会出場へ

10月13日(木)、総合グラウンド前で芦北水俣郡市中学校8校による駅伝大会が開かれ、津奈木中学校の女子チームは2年ぶりの優勝、男子チームは2位でゴールしました。男女共に11月11日(金)、熊本市で開かれる県大会への出場権を獲得。選手たちは、沿道からの熱い声援を受けながらゴールを目指し、たすきをつなぎました。

女子チームは、スタートから首位を独走し、2人が区間賞を獲得。男子チームは連覇とはなりませんでしたが、一人ひとり持てる力を十分に発揮し、最後まで奮闘を見せました。個人では、男子1区の新立峻さん(大泊)と女子1区の齊藤里菜さん(桜戸)が区間新記録を達成しました。

【大会結果】

順位	選手	タイム
優勝	津奈木	44分06秒
2位	水俣二	44分54秒
3位	水俣一	46分15秒
優勝	水俣二	1時間5分23秒
2位	津奈木	1時間7分43秒
3位	水俣一	1時間8分12秒

津奈木中学校出場選手一覧 ※敬称略

【男 子】			【女 子】		
1区 (4.2km)	新立 峻 (3年)	12分37秒(★)	1区 (3.0km)	齊藤 里菜 (1年)	10分20秒(★)
2区 (3.0km)	林 侑紀斗 (2年)	9分52秒	2区 (2.1km)	眞野 愛佳 (1年)	7分20秒
3区 (3.0km)	中原 一飛 (3年)	11分00秒	3区 (2.1km)	楠本 愛羅 (1年)	7分39秒
4区 (3.0km)	津々木 俊翔 (1年)	10分04秒(★)	4区 (2.1km)	伊藤 愛 (3年)	7分37秒(★)
5区 (3.0km)	柳迫 勇任 (1年)	10分34秒	5区 (3.0km)	國本 詩織 (3年)	11分10秒
6区 (4.2km)	洲上 颯大 (2年)	13分36秒	※ (★) は区間賞。		

決算公表

本町では毎年2回、町の財政運営の実態を公表しています。今回は、9月定例議会で議決された令和3年度の一般会計と6つの特別会計の決算の概要をお知らせします。

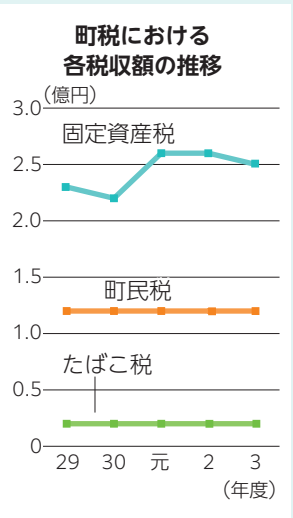
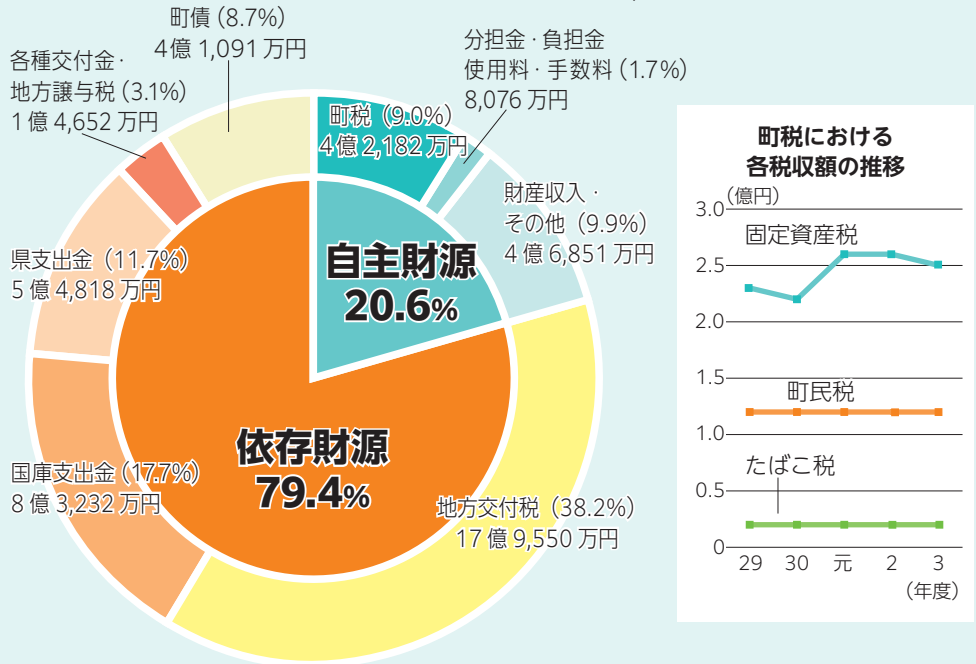
総務課財政班

78・3111（内216）

歳入（一般会計）

町に入ったお金 47億452万円

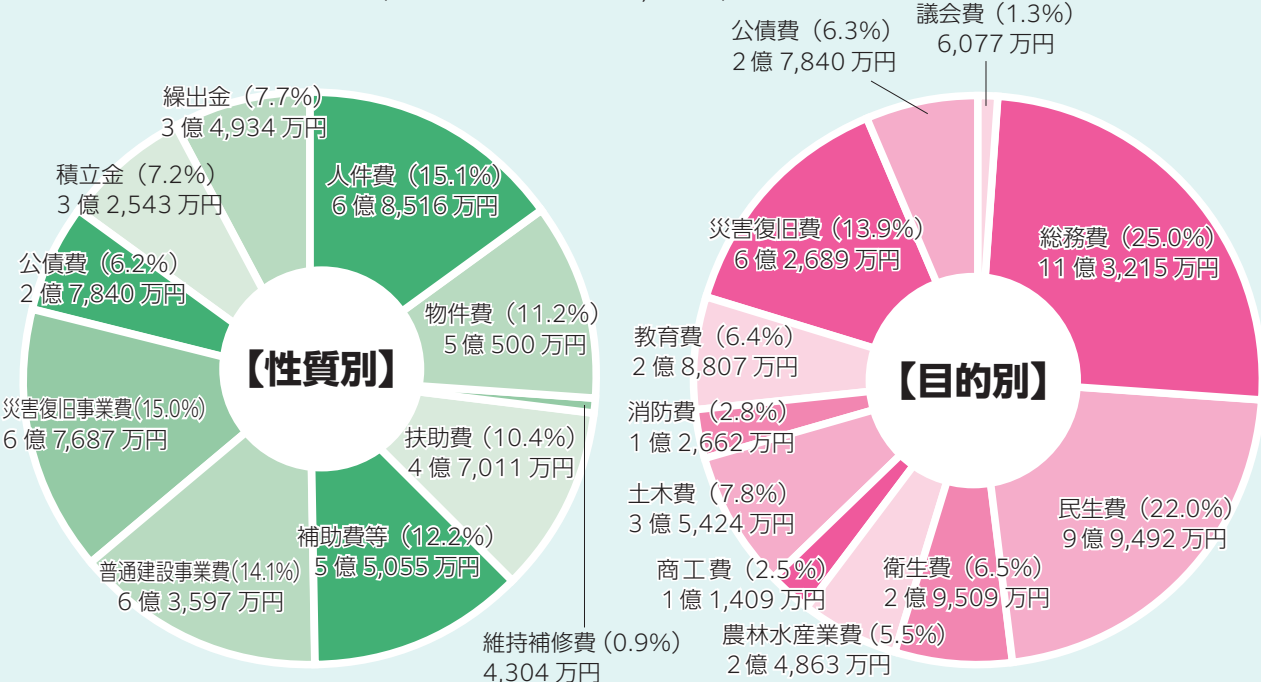
（町民1人あたり108万5,241円）



歳出（一般会計）

町が使ったお金 45億1,987万円

（町民1人あたり104万2,645円）



財政力指数

標準的なサービスを行うために必要な財源を、どれだけ自力で調達できるかを示す指標。0・4未満の場合は過疎団体の一要件とするなど、国が財政援助の程度を決定するときの指標として用いられます。

年度	単年度 (3年平均)
29	0.22 (0.21)
30	0.22 (0.22)
元	0.24 (0.23)
2	0.24 (0.23)
3	0.21 (0.23)

健全化判断比率（4指標）

実質赤字比率	- (15.0)
連結実質赤字比率	- (20.0)
実質公債費比率	2.6 (25.0)
将来負担比率	- (350.0)

赤字額がないため「-」と表示。どれも早期健全化基準である「-」の値を下回り「健全な状態」といえます。

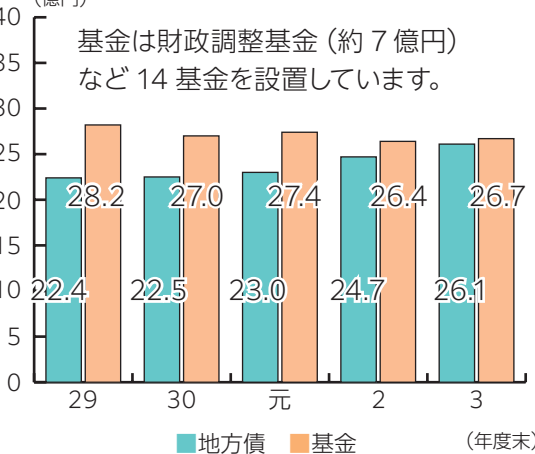
資金不足比率

簡易水道事業	- (20.0)
宅地造成事業	- (20.0)

資金不足がないため、資金不足比率は「-」と表示。「-」の値は、経営健全化基準です。

区分	金額
①歳入	47億452万円
②歳出	45億1,987万円
③形式収支額（①－②）	1億8,465万円
④翌年度へ繰越すべき財源 ※翌年度に繰越した事業の財源に充当。	7,759万円
⑤実質収支額（③－④）	1億706万円
基金繰入金 ※地財法第7条により基金に積み立てます。	5,400万円
純剰余金 ※翌年度会計に一般財源として繰越し。	5,306万円

基金（貯金）・地方債（借金）残高の推移



特別会計の決算状況

	国民健康 保険事業	後期高齢者 医療事業	簡易水道事業	介護保険事業	恒久対策事業	宅地造成事業
歳入	10億6,661万円	8,602万円	1億1,026万円	8億5,964万円	1,402万円	1,998万円
歳出	8億2,884万円	8,596万円	9,282万円	7億8,666万円	1,361万円	1,231万円
一般会計からの繰入金	5,997万円	3,259万円	2,571万円	1億2,555万円	0万円	0万円
基金残高	5億7,328万円	0万円	4,724万円	6,941万円	5億3,628万円	0万円
地方債残高	0万円	0万円	5億4,951万円	0万円	0万円	0万円

【財政用語解説】

- ▼自主財源：団体が自主的に収入しうる財源。地方税、使用料・手数料、繰入金、繰越金など。
- ▼依存財源：国や県から交付される財源。地方交付税、国庫・県支出金、地方債など。
- ▼町債：町が財政収入の不足を補うため、資金を外部から調達することで負担する債務。償還は複数年度にまたがるため、将来、便益を受けることになる後世代の住民と現世代の住民との間で負担を分かちあうことができる。
- ▼目的別分類：予算科目の款・項を基準にしつつ、行政目的に着目して分類する方法。
- ▼性質別分類：予算科目の節を基準にしつつ、経済的性質に着目して分類する方法。
- ▼形式収支：歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額。収支計算の基礎となる。
- ▼実質収支：形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を除いたもの。当該年度に属すべき収入と支出との実質的な差額。黒字団体や赤字団体という場合は、この実質収支により判断する。
- ▼純剰余金：通常は実質収支のことをいうが、ここでは基金積立分を除いた翌年度会計に繰越して一般財源として使用できるものをいうこととする。

“つなぎふれあい祭り”同時開催 津奈木レール&フットパス アートのマーチ

津奈木町の自然とアートを巡る
2コースから選べます。地域の食が集まるお祭りや
温泉で使える参加特典もお楽しみに。

- ①アートの道コース【約6km】
- ②海の小学校コース【約4km】

無料周遊バス
運行します。

開催
日時

令和4年
11月13日

集合場所 津奈木町B&G総合体育館
受付時間 10:00～12:00
ふれあい祭り 10:00～15:00

申込期限／令和4年11月6日(日)

※200名様になり次第締め切らせていただきます。
※駐車場は津奈木B&G総合体育館横の駐車場をご利用いただけます。
津奈木駅と新水俣駅からは周遊バス(無料)をご利用いただけます。

参加料

小学生以上 1,000円(税込) ※未就学児は無料
※参加料は当日受付にてお支払いください。保険料込。

参加特典1

薩摩街道ウォーク&
フットパスオリジナル
デザインの缶バッジ
&
お弁当入れにもピッタリな
肥薩おれんじ鉄道
エコバック

参加特典2

つなぎ温泉
四季彩
入浴券

参加特典3

ふれあい祭りで
使える
お楽しみ
抽選券

お申込み方法 メール(railpath@omoyainet.com)または、ホームページ(https://railpath.jimdoofree.com)の
いずれかでお申込ください。QRコードを読み取るとホームページにアクセスできます。
メールの場合は【氏名・年齢・住所・電話番号】をご記入ください。

お問合せ フットパス津奈木(津奈木町役場 政策企画課内) 0966-78-3114

主催:フットパス津奈木・フットパス芦北・フットパス研究所・肥薩おれんじ鉄道(株)・熊本県芦北地域振興局
このイベントは、水俣・芦北地域振興計画に基づく事業として実施します。



エントリー
システム

不知火海の海老は絶品!

つなぎ
海老フェア

10月15日(土)～11月13日(日)

2022
つなぎ
スタンプラリー
開催中



足赤えびと
白身フライ定食

かなり



¥2,000

かなり
営業時間/11時～13時半、17時～21時半
定休日/水曜、日曜昼
TEL/0966-78-4493

末広屋



¥8,000

末広屋
営業時間/11時半～13時半、17時半～22時半
定休日/火曜
TEL/0966-78-3999

つなぎ温泉
四季彩



¥2,000

つなぎ温泉四季彩
営業時間/11時半～14時半、16時半～19時
定休日/第1水曜
TEL/0966-78-4126

TAKE OUT
OK!

かねやま
うどん



¥500

かねやまうどん
営業時間/11時～14時半、17時～21時半
定休日/第2火曜
TEL/0966-78-2893

よりみち



各¥380

よりみち
営業時間/8時～18時
定休日/なし
TEL/0966-78-5677

つなぎ
百貨堂



¥850

つなぎ百貨堂
営業時間/9時～18時
定休日/第1水曜
TEL/0966-78-2000



← 店舗情報やアクセスはこちら
つなぎ食の振興協議会
(津奈木町商工会内) TEL:0966-78-3580

- ・料理などの詳細は各店舗にお問い合わせください。
- ・漁獲状況により、数量限定となる場合もございます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

つなぎの地酒

海老の旨味を引き立ててくれる
辛口のお酒、各店舗で販売中です

亀萬酒造
特別本醸造



フレンドリーカップビーチバレー大会



仲間同士で ビーチバレーを楽しもう

閩教育委員会生涯学習班 ☎78-5400 (内704)

▶日時 **12月11日(日)**
8:30~12:00

▶場所 B&G 体育館

▶参加チーム数 8~12 チーム (先着順)

▶参加料 1,000 円

▶参加資格 町内に住む成人男女 (町外でも町内に勤務している人は可) で1チーム7人以内

▶申込 教育委員会備え付けの申込書に必要事項を記入し、11/28 (月)までに提出



粗大ごみの休日特別受け入れ



粗大ごみの 休日特別受け入れ

閩住民課住民班 ☎78-3113 (内111)

処理場へ持ち込む粗大ごみは「燃える粗大ごみ」と「燃えない粗大ごみ」に分別をお願いします。

▶日時 **12月4日(日) 9:00~12:00**

▶場所 津奈木町ごみ処理場

▶その他 粗大ごみは平日 (水曜日、祝日、年末年始を除く) も受け入れています。

▶料金表 おつりのいらないようにお願いします。

区分	基本額	加算額
可燃粗大ごみ	300 円	30 ^{kg} を超えたら 10 ^{kg} ごとに 100 円
不燃粗大ごみ	500 円	50 ^{kg} を超えたら 10 ^{kg} ごとに 100 円
指定粗大ごみ (自転車)	700 円 (1台)	

地域おこし協力隊通信

津奈木町の 可能性を探求する

皆さんこんにちは。4月から津奈木町の地域おこし協力隊に着任しました船津です。担当している業務は地域商社の推進とふるさと納税のサポートです。

「地域商社」という言葉は、町の事業者も聞いたことがあるかもしれませんが、実態がよく掴めていない人も多いと思います。皆さんに分かりやすく地域商社のことを説明したり、「津奈木町の地域商社」のあり方を皆さんと作っていったらと思っていますのでよろしくをお願いします。

私は2019年12月に「三ツ島ビーチクリーンプロジェクト」を立ち上げました。これは、津奈木町の有志たちと海岸清掃をしながら、自然で遊ぶことの楽しさ、そこから得られる学びや技術を探求することが目的です。その中で漂流ゴミの問題や、無料のキャンプ場が抱える問題について考え、来場者が快適に安全に過ごすためにはどうしたら良いのかを探る活動



地域商社推進 船津 嵩顕さん



をしています。

10月9日(日)には三ツ島ナイトという、ライブ、ナイトシアター、おいしい出店が楽しめるイベントを活性化委員会と企画して開催しました。

これからも地域商社や津奈木町で遊ぶ楽しさ、商業的にみた可能性を発掘していきたいです。

マイナンバーカード&マイナポイント申請出張サポート



マイナンバーカードを 作りませんか

閩総務課総務班 ☎78-3111 (内213)

12月末までにマイナンバーカードを申請すると2万円分のポイントがもらえます。

▶必要なもの

▶マイナンバーカード申請

QRコード付き交付申請書か通知カード(無いときは手ぶらでもOK)

▶マイナポイント申請

マイナンバーカード・通帳など口座情報が分かるもの、決済サービスの情報

▶場所・日時

つなぎ文化センター

11/2 (水) 11:00~17:00

11/3 (木) 10:00~16:00

ふれあい祭り会場 (B&G体育館周辺)

11/12 (土) 10:00~16:00

11/13 (日) 10:00~15:00

原油価格・物価高騰に関する支援



農林漁業者支援 機械などの購入費補助

閩農林水産課 ☎78-3112 (内241)

7月に募集した機械等購入補助の2次募集を対象者を拡大して実施します。

▶対象 1次募集の対象者に加え、機械などを購入する町内に住所を有する以下の人

・農業: 農業収入がある人、農地保有者・耕作者

・林業: 林地台帳に記載されている人

・漁業: 津奈木漁協準組合員

▶補助内容 作業の省力化や効率化につながる機械やシステムなどの整備費用。1台10万円以上の機械などが対象。

▶補助率 2分の1以内 (上限20万円)

▶申込 11/25 (金)までに農林水産課備え付けの申請書に必要書類を添えて提出

※1次募集の対象者や補助内容については広報7月号をご覧ください。農林水産課までお問い合わせください。

社会保険料控除証明書



国民年金保険料は全額が 社会保険料控除の対象

閩住民課住民班 ☎78-3113 (内112)

社会保険料控除を受けるには、納付したことを証明する書類の添付が必要です。控除の対象者には控除証明書が送られますので大切に保管してください。家族の国民年金保険料を納付したときも、控除が受けられます。

▶国民年金保険料控除証明書送付時期

1/1~9/30 に保険料を納付

10月下旬~11月上旬に順次送付

10/1~12/31 にことし初めて保険料を納付

R5. 2月上旬に送付

出張年金相談の案内

【相談時間】9:30~15:30

○11/10 (水)・24 (水) 水俣市総合もやい直しセンター

○11/18 (金) 芦北町役場

相談方法 (事前に電話予約)

○八代年金事務所出張相談予約窓口 (平日 8:30~17:15)

☎0965-35-6123

マイナンバーカード休日交付窓口開設



マイナンバーカード の休日交付(要予約)

閩住民課住民班 ☎78-3113 (内111)

マイナンバーカードの交付準備ができた人へ交付通知書を送っています。平日受け取りが困難な人を対象に、休日窓口を開設します。

※交付申請やマイナポイントのご相談は対応できませんのでご了承ください。

▶日時 **11月20日(日)**
9:00~12:00

▶場所 住民課住民班窓口

▶予約 11/18 (金)前までに住民課に電話

※受付時間 平日 8:30~17:00



危険物取扱者試験

▶ **試験の種類** 甲種・乙種第1類～第6類・丙種

▶ **試験日** R5.2/19(日)

▶ **試験場所** 熊本市

▶ **受付期間**
・電子申請 12/12(月)～19(月)
・書面申請 12/15(木)～22(木)

☎(一財)消防試験研究センター
☎096-364-5005

新しい家族を待ってます

ペットを飼おうと思ったとき、保健所や動物愛護センターから保護犬や保護猫を迎え入れるという選択肢があります。県では、譲渡対象となる犬や猫をホームページで紹介しています。

☎水俣保健所
☎63-4104



**11/9～15は
秋季全国火災予防運動**

★いのちを守る10のポイント

4つの習慣

①寝たばこは絶対にしない。
②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
③コンロを使うときは火のそばを離れない。
④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

6つの対策

⑤ストーブやコンロなどは安全装置の付いた機器を使用する。
⑥住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
⑦寝具・衣類・カーテンは防災品を使用する。
⑧消火器を設置し、使い方を確認しておく。
⑨避難経路や避難方法を確保し、備えておく。
⑩防火防災訓練に参加し、地域ぐるみの防火対策を行う。

☎水俣芦北広域行政事務組合消防本部
☎63-1191

性暴力被害を受けた人へ

ゆあさいどくまとは性暴力被害者やその家族のための相談窓口です。被害の時期に関わらず相談が受けられます。

☎ゆあさいどくまもと
☎096-386-5555

**ホンデリング
本で広がる支援の輪**

寄付された不要な本を犯罪被害者へのさまざまな支援活動に活用します。回収BOXは水俣警察署に設置しています。詳しくはQRコードを読み取ってください。

☎水俣警察署
☎62-0110

労使紛争の解決に「あっせん」

労働者と事業主とのトラブル解決をお手伝いする「あっせん」をしています。費用は無料。気軽にご相談ください。

☎県労働委員会事務局
☎096-333-2753

**若者サポートステーション
やつしろ出張相談会**

▶ **対象** 15～49歳の求職者、家族
▶ **時間** 13:30～16:30
▶ **相談料** 無料

水俣市会場

▶ **相談日** 11/1(火)・15(火)
▶ **場所** ハローワーク水俣

芦北町会場

▶ **相談日** 11/24(木)
▶ **場所** 総合コミュニティセンター

☎若者サポートステーションやつしろ
☎0965-37-8739

家族介護者教室

▶ **日時** 11/29(火)
13:30～15:00

▶ **場所** 農業就業改善センター

▶ **内容** 講演「体が軽くなるストレッチ体操・運動指導」

▶ **講師** 理学療法士 彌生 優子氏

▶ **定員** 20人

▶ **申込** 11/28(月)までに町地域包括支援センターに電話
☎町地域包括支援センター
☎78-5333

**生活支援ボランティア
養成講座**

▶ **日時** 11/30(水)
13:30～16:00

▶ **場所** 農業就業改善センター

▶ **内容** 講演「ボランティア活動の意義」「実際の支援対象者と活動内容」

▶ **申込** 社会福祉協議会備え付けの申込書を11/29(火)までに提出
☎町社会福祉協議会
☎61-2940



**くまもと子ども・若者
“よりそい”シンポジウム**

医療現場での子どもたちへの支援や日常生活で支える家族・支援者に求められる関わりを学びませんか。

▶ **日時** 11/5(土) 13:00～

▶ **場所** くまもと県民交流館パレア

▶ **対象** 保護者・支援者

▶ **参加費** 無料

▶ **申込** 右QRコードから申込

☎県子ども・若者総合相談センター
☎096-387-7000



熊本県の最低賃金は853円

10/1から熊本県最低賃金が時間額853円に改定されました。県内すべての事業所・労働者に適用されます。

☎熊本労働局労働基準部賃金室
☎096-355-3202

第82回県科学展

県内約4万5千人の児童生徒が夏休みの自由研究やクラスで取り組んだ科学研究物の中から選出された約120点を展示します。

▶ **期間** 11/6(日) 9:00～17:00

▶ **場所** 旧熊本市立松尾西小学校

▶ **入場料** 無料

☎県立教育センター
☎0968-44-6613

**道路に張り出している
木は伐採**

道路や歩道への枝の張り出しや倒木で歩行者や自動車などに被害が発生したら、樹木所有者の管理責任が問われることがあります。所有者は点検し、危険な場合は伐採などをお願いします。

☎県道路保全課
☎096-333-2495

Life Information くらしの 情報

**消費税のインボイス制度
説明会**

インボイス制度(適格請求書等保存方式)とは、買手が仕入税額控除の適用を受けるため、売手の事業者から交付を受けた「インボイス」の保存を必要とする制度です。税務署では制度の説明会を開催します。要予約。

▶ **日時** 11/22(火)
説明会 10:00～11:00
相談会 11:00～12:00

▶ **場所** 八代税務署

▶ **参加費** 無料

▶ **定員** 15人(先着順)

▶ **申込** 11/18(金)までに電話
☎八代税務署
☎0965-32-3209



**農業者の収入保険料を
支援します**

県では、農業者が加入する収入保険の保険料を一部支援します。継続加入や集団加入されるときも支援もあります。

▶ **対象** R4年度に収入保険に加入する農業者

▶ **支援額** 保険料の1/3
※上限6万円

☎農業共済組合八代・芦北支所
☎82-5577

つなぎ温泉 四季彩

つなぎふれあい祭り

購入した入浴券に大当たりマークがあれば入浴優待券をプレゼント!館内開催のゲームも点数に応じて入浴優待券をプレゼントします。

▶ **期間** 11/12(土)～13(日)

つなぎ海老フェア

地元特産の足赤えびや石えびの料理をぜひご賞味ください。

▶ **期間** 10/15(土)～11/13(日)

問い合わせ先: つなぎ温泉四季彩 ☎78-4126
営業: 午前10時～午後9時 休業日: 第1水曜日

つなぎ百貨堂

秋の味覚フェア開催中

「肥のあけぼの」をはじめ、早生みかんが入荷中。ことしは収穫量が少なく、数量限定での販売。※地方発送などは早めにご予約ください。



問い合わせ先: つなぎ百貨堂 ☎78-2000
営業: 午前9時～午後6時 休業日: 第1水曜日

※来館時は新型コロナウイルスの感染対策にご協力をお願いします。



※異動日などで、前月からの増減
とは一致しない場合があります。





たろうつなぎプロジェクト成果展 たろうとニッポン画わたし話

伝統日本画の技法をベースにした古典絵画にユーモアやパロディを感じさせる現代的な要素を加えた「ニッポン画」を提唱する、ニッポン画家のたろうと住民が協働で取り組む「たろうつなぎプロジェクト」の成果展です。たろうが津奈木町在住の高齢者から聞き集めた思い出を元につくったオリジナルの五つの昔話の絵を津奈木町で使っていた襖に描き、プロジェクトのプロセスや過去の作品などと一緒に展示します。

期 間 11/26(土)～2023.1/22(日)

場 所 つなぎ美術館 1・3階展示室

観覧料 一般 300 円

高校・大学生 200 円

小・中学生 100 円

協 力 熊本市現代美術館

島田美術館

特別養護老人ホームつなぎの里

特別養護老人ホームあけぼの苑

京都美術工芸大学

虚屯出版（カラクリワークス株式会社）

UMMM

助 成 公益財団法人 水俣・芦北地域振興財団



アーティストトーク

日 時 11月26日(土) 14:00～14:30

場 所 つなぎ美術館 1・3階展示室

ゲスト たろう

定 員 20人（申込不要・当日先着順）

参加費 観覧料

記念対談

「昔話の小宇宙～むかしむかしが生まれるところ～」

日 時 12月11日(日) 14:00～15:30

場 所 つなぎ文化センター

ゲスト たろう 石倉敏明(秋田公立大学准教授・芸術人類学)

【開催中の展覧会】

光と影のアンソロジー

この世界にただ独り立つ

期 間 11月13日(日)まで

【関連プログラム】

水俣湯出七滝森の茶会

日 時 11月13日(日) 15:00～16:00

場 所 つなぎ美術館 喫茶室

ゲスト 平川恒太 大塚佳寿子（ティーソムリエ）

定 員 6人（要予約・先着順）

参加費 1,000円（お茶・お菓子代含む）

つなぎ美術館 〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町大字岩城 494 ☎0966-61-2222 FAX 0966-61-2223

開館時間 10:00～17:00（入館は16:30まで） 休館日 水曜日（祝日の場合は翌平日）

※内容が変更されるときはつなぎ美術館 HP と SNS でお知らせします。



スマートフォンなら「マチイロ」

「広報つなぎ」をいつでもどこでも読むことができる無料アプリです。QRコードを読み取り簡単な登録を済ませてください。

※アプリのダウンロードや登録は無料、通信料は利用者負担。



QRコード

▽10月18日・19日に開かれた小中学校のモルック体験教室。私もスタッフの1人として参加しました。驚いたのは子どもたちの吸収の速さ。ルールや投げ方のコツをすぐに覚えて競技に没頭していました。11月開催のつなぎモルック大会に向けて役場チームでも練習が本格的になってきました。私も子どもたちに負けないよう練習に励みます（長）
▽久しぶりに特集を作りました。密やかに執り行われてきた「弁天様のお祭り」を持続可能なアート作品として再構築した『海渡り』。伝統や文化を大切にしている気持ちは、ふるさとへの愛情につながります。毎年、食欲の秋を楽しみむばかりですが、こころは芸術の秋に触れることができました（田）

編集後記

▽10月18日・19日に開かれた小中学校のモルック体験教室。私もスタッフの1人として参加しました。驚いたのは子どもたちの吸収の速さ。ルールや投げ方のコツをすぐに覚えて競技に没頭していました。11月開催のつなぎモルック大会に向けて役場チームでも練習が本格的になってきました。私も子どもたちに負けないよう練習に励みます（長）